

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所Core Lab

公表日 2026年 3月 10日

利用児童数

20

回収数

15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8	0	3	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	4	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	6	8		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	1	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	1	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	0	0		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0		

回答No	ご意見	事業所からの回答
14	相談すると都度アドバイスを下さり助かっています。今後も親としてどのような関りが必要か教えてください。	
3	所々段差があるので完全なバリアフリーではない。また駐車スペースが道路・信号・電信柱とともに狭く停めづらい。駐車できる台数、自転車を止める場所がとても少ない。	停めづらい駐車スペースで申し訳ございません。満車時は近隣のコインパーキングのご利用をお願い致します。
5	先生方は1人1人とても真摯に向き合ってください、丁寧に支援計画を立ててすぐに実行されている。その姿勢が有難く安心して子供たちをお任せできている。	
16	面談という時間はないが、毎回十分に先生方とお話できているので有難い。	お話の機会として、毎回のフィードバック時にお話を伺う機会を設けておりますが、面談については今後支援時間とは別で設ける予定です。ご希望に応じて対応可能です。
18	特に必要としていないのでなくても問題ない。	今後保護者様向けの勉強会を実施予定です。詳細が決まり次第公開させていただきます。
	このような機会があった方が良いと思うが、今後予定はあるのかどうか気になる。	
21	HPやSNSを見ないのでわからない	
23	避難訓練のようなことが年1度くらいはあった方が良いと思うが、今後予定はあるのかどうか気になる。	2名以上の活動時に年2回以上を目安に随時実施をしております。
4	年長さんくらになると、少し運動する空間として子によっては足りないかなと思います。	運動の必要性がありつつ、事業所での活動では不足と判断した場合は、事業所外での運動を推奨することがあります。
29	4月から訪問支援も開始されるとのことだったので、是非していただきさらなるよりより支援を期待したいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所Core Lab		公表日		2026年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		支援室の数や職員の人数を加味した配置になっております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		全ての職員が常勤職員であり、適切に配慮しております。	状況に応じた柔軟な対応が継続できるよう適切な運営をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		バリアフリーはまだだが、情報伝達や配慮はされている。製作物等の掲示は玄関のみで、その他は子供への刺激とならないよう配慮しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日指定の時間に清掃をしております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		基本的に個室の利用となっております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		支援提供前後にて、改善点や今後必要となる対策に向けた意見交換を行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		会議を開催し、職員に共有・話し合いの時間を設けております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		会議等で意見交換の場を設けております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	外部評価は行っておりませんが、業務改善に向けて日々取り組んでおります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		必要に応じて外部研修の推奨をしております。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		HPIにて公開しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		アセスメントの日程を設定し、取り組んでおります。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		検討会の中で他職員の意見も取り入れております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		個別支援計画書の内容を都度チェックすることを全職員が意識できております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		行動観察や評価ツールを用いて確認しております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		アセスメントの日程を設定し、取り組んでおります。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		検討会の中で他職員の意見も取り入れております。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	子どもの状況にあわせて都度プログラムを検討しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	個別→ペア→小集団の段階を作って支援しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	事前に担当を決定しmtgしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	支援後、mtgにて共有と改善に向けた対策を検討しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	子どもの反応などを明確に記録しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	保護者様の理解も深まるよう、状態の詳細を可能な限りお伝えしております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	全職員参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	要望があれば積極的に行います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	お子様の状態に応じて連携を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	必要に応じて連携を行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	お子様と保護者様の状況に応じて、連携を図り助言を都度いただいております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	今後必要に応じて活動を行います。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	支援後のFBにて保護者様とお話できる時間を設けております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	ペアトレの名目での提供はしていませんが、ご家族向けの理解促進に向けた情報は行っております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	必要に応じて都度ご説明をしております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	保護者の話を傾聴し意向などを伺っております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		目標を明確にしなが説明し合意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		ご要望に応じて面談の機会を提供しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		今後定期開催の予定をしております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		職員間で協力し、対応することができております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		情報発信は今後取り組む予定をしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		ダブルチェックをするなど厳重に取り扱っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		特性に合わせまた、職員間でも統一して配慮することを意識しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		今後外部講師を招いて参加いただくイベントを予定しております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		HPにて公開しいつでも閲覧可能な状態とし、訓練もお子様にあわせて内容で定期的に行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		年2回、利用者も交えて避難訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		書面で確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		書面で確認しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		会社全体で安全計画を作成することが徹底されております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		お子様の様子をモニタールームで保護者が見ることができ、視覚的にも保護者へ共有できております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		都度報告し合い、防止策についても共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		法人で虐待防止委員会が設置されており、研修も実施されております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束研修を行っており、必要に応じて検討しております。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所Core Lab		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 15日		~ 2026年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 15日		~ 2026年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人一人の状態に合わせられる柔軟性	お子様の状態によって支援内容や環境設定、人員配置を行っていること	できることが増えていくお子様に合わせて、より合う教材を購入し就学期を見据えた支援を継続すること 清潔な環境の継続
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や認定こども園、幼稚園など外部との交流が少ない。	開所から約2年経ったがまだ運営年数が浅いため、地域内の外部との関わりが弱い。これから訪問支援等で連携を強める。	今後少しずつ外部との交流は増やしていきたい。交流の手段も検討していく。
2	事故や非常災害時などのイレギュラー対応。	利用者様へも緊急時の対応の共有が行き届いていないため、都度内容の案内が必要。	避難訓練が年2回実施されていることを徹底する。また、職員へは避難訓練等の後、FBする時間をとり、緊急時に備えた対応を周知する。
3			